

筑波大学高大連携プロジェクト

天塩町 

指導教員：大澤 義明

総括：若林 優妃 小又 聰広

参加者：長晃 高瀬陸 鍾岱

高木 力貴也 歐陽君頤 加古捺巳

天塩町とは

日本最北端の地である稚内から車で1時間ほどの場所に位置し、全国有数の味・大きさえお誇る「しじみ」の産地として知られている。また、町の発展を担う基幹産業の一つとして、専業化された大規模酪農があり、1万頭の乳牛が飼育されている。

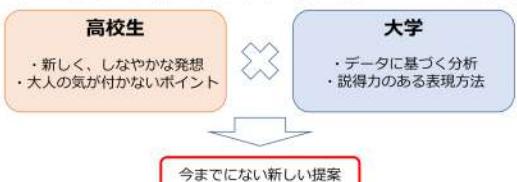
しかし、ほかの多くの地方市町村と同じく天塩町も大都市への人口流出などを原因とする人口減少、高齢化の影響を受けており、人口は約3000人にまで落ち込んでいる。

高齢化が進む天塩町であるが、近隣最大の都市である稚内への公共交通を利用した移動は非常に不便である。そんななか、nottecoと呼ばれる乗り合いマッチングサービスを日本で初めて導入している。



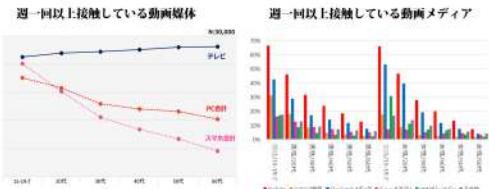
高大連携活動とは

高校生ならではのしなやかな発想を大学生の分析力や表現力でサポートする。また、日本の将来を支える多くの高校生に、高校生目線で多彩な情報を提示してもらいたい人材育成へも貢献したい。



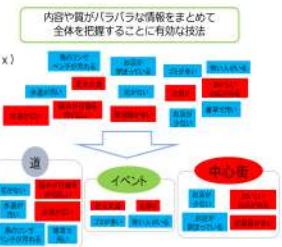
動画のPRとは

最近では多くの若者にスマートホンなどの電子機器が普及し、多くの若者がスマホを通して動画を視聴している。若者ほど動画メディアに多く接触する傾向にあり、動画でのPRは若者に効果的であるといえる。



活動の流れ

高校生目線の率直な印象や考え方をKJ法によってカテゴリ一分けして整理し、自分のまちの魅力を発掘する。
その分析に基づいてPR動画を撮影、編集して動画投稿サイトにアップロードする



今回の活動は2018年4月5日の北海道新聞朝刊、留萌・宗谷版でも大きく取り上げられた。このことからも高校生の意見を取り入れることや、動画を使ったPRの注目度が高いことが分かる。



天塩町商店街活性化（1班）

高校生の話し合いで天塩の魅力として、地元のものを生かして作られるチーズやプリン、ラーメンといった食べ物と北海道以外ではなかなか見ることができない物をじめとする大自然が挙げられた。

また、多くの人に見てもらうための工夫としてゲーム形式での動画撮影が提案された。



動画内容

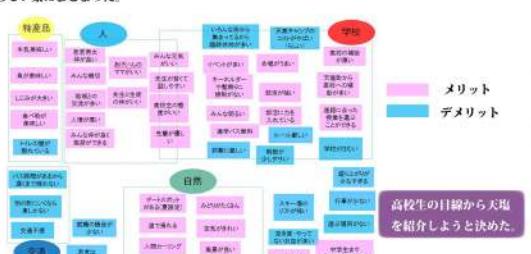
天塩町雪上王は誰だ？勝負をする！…



天塩高校活性化（2班）

部活や温泉施設、まちのお店などが天塩高校や天塩町の良さとして挙がった。

また、高校生と中学生メンバーは全員女子であったため、動画を見てもらうために恋愛ゲーム形式の動画にするという女子高校生らしい案にまとまった。



動画内容

転校生の男の子は天塩町で色々な女の子を出会った…

